



2015年度第2四半期 決算説明会  
資料2

## 島根原子力発電所の状況

---

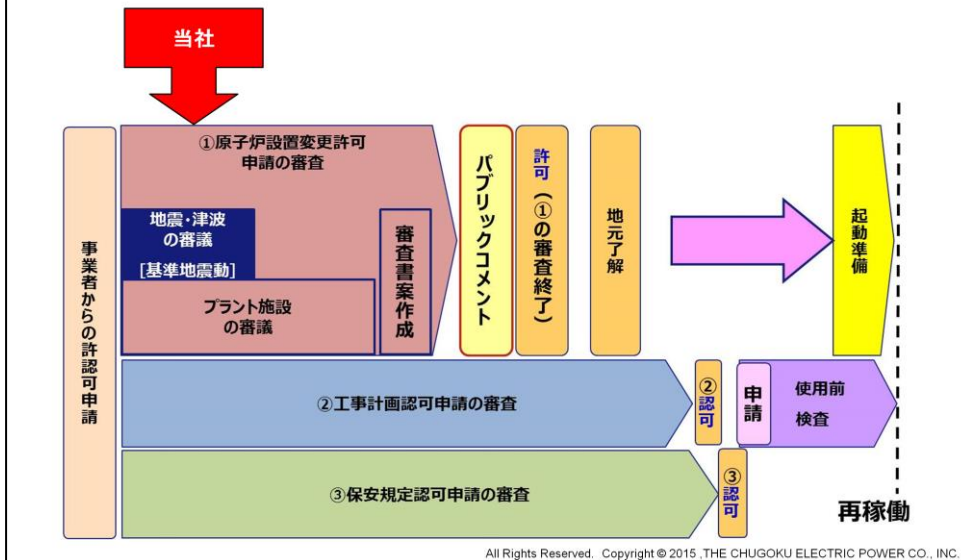
2015年11月6日

中国電力株式会社

# 1. 適合性審査のプロセス

1

- 一昨年の12月、島根2号機の適合性確認に係る申請書類を原子力規制委員会へ提出。
- 適合性確認の審査は、昨年1月に開始され、10月末時点で合計67回開催。



- はじめに、島根2号機に関わる適合性審査の状況についてご説明します。
- 島根2号機の適合性審査は、昨年1月から開始されましたが、以降10月末時点で、計67回の審査会合が開催されています。

## 2. 適合性審査の進捗状況【島根2号機：プラント関係】

2

- BWRのプラント関係の審査は、8月以降、東京電力柏崎刈羽6・7号機に集中して行われており、島根2号機の審査は実質的に中断している。

	主要審査項目	審査状況	審査概要	◆審査状況 ★当社評価
重大事故対策	確率論的リスク評価(PRA)	実施中	炉心が損傷し重大事故に至る確率を定量的に評価および重大事故対策の有効性評価など	◆内部・外部事象について炉心損傷および格納容器破損に至る確率を説明
	事故シーケンス選定	実施中		◆PRA結果を基に選定した事故シナリオを説明
	有効性評価	実施中		◆選定した事故シナリオに対して重大事故対策が有効であることを説明
	解析コード	実施中		◆PRAや有効性評価で用いた解析プログラムの妥当性を説明
	制御室	実施中	事故時の被ばく評価等に関するもの	◆7日間で44mSvで評価
	緊急時対策所	実施中		◆電源設備、被ばく評価、運用方法などについて説明
	フィルタ付ベント設備	実施中		◆設計方針と仕様、性能、運用方法の妥当性を説明
設計基準事故対策	内部溢水	実施中	新たに追加された自然災害に対する評価および対策など	◆内部溢水の影響評価・対策について説明
	火災	実施中		◆外部、内部火災の影響評価について説明
	竜巻(影響評価・対策)	実施中		◆最大風速92m/sで評価していることを説明
	火山(影響評価・対策)	実施中		◆三瓶山、大山を対象として再評価した旨説明(火山灰約30cm ← (当初申請:約2cm))
	静的機器単一故障	実施中		◆静的機器を洗い出し安全機能が維持できることを説明
保安電源設備	未		★外部電源の信頼性を評価	

All Rights Reserved. Copyright © 2015, THE CHUGOKU ELECTRIC POWER CO., INC.

- この2ページの表は、プラントに関する主な審査項目や、審査状況を示したのですが、
- 皆さまご承知のとおり、8月の審査会合において、BWRのプラント関係の審査については、東京電力の柏崎刈羽原子力発電所6・7号機に集中する方針が、原子力規制委員会より示されました。
- このため、島根2号機の審査は実質的に中断しており、現在は、再開後に効率的に審査が進められるよう、柏崎刈羽の議論を注視している状況です。

## 2. 適合性審査の進捗状況【島根2号機：地震・津波関係】 3

- 地震・津波に関する審査は継続して行われている。
- 基準地震動評価の前提となる、震源を特定して策定する地震動について審査中。

	主要審査項目	審査状況	審査概要	◆審査状況 ★当社評価
地震	震源を特定せず策定する地震動	実施済		◆留萌、鳥取県西部地震を考慮する旨説明
	震源を特定して策定する地震動	実施中	発電所において考慮すべきとされる基準地震動に関するもの	◆宍道断層に関する更なる追加調査（ボーリング調査）の結果、断層は認められない旨説明（下宇部尾東、女島）
	敷地及び敷地周辺の地下構造	実施済		◆地下構造モデルの妥当性説明
	基準地震動	未		★Ss-1(600ガル)～Ss-4を設定
	耐震設計方針	未	基準地震動に対する設備の評価に関するもの	★基準地震動に対し設備の安全性が維持できると評価
	敷地の地質・地質構造	実施中	発電所敷地内の地盤に関するもの	◆破碎帯・活断層等はない旨説明
津波	地盤・斜面の安定性	未		★安全性を有すると評価
	基準津波	未		★9.5mで設定
	耐津波設計方針	未	発電所において考慮すべきとされる津波評価に関するもの	★安全性が維持できると評価（防波壁15m、水密扉設置済）

All Rights Reserved. Copyright © 2015, THE CHUGOKU ELECTRIC POWER CO., INC.

- 続いて3ページの表は、地震・津波に関する主な審査項目や、審査状況を示したものです。
- プラント関係については中断しているものの、地震・津波に関する審査は、継続して行われています。  
後ほど詳しく説明いたします。

### 3. 基準地震動に関わる審査の流れ

4

- 基準地震動を策定するにあたっては、敷地内の「地下構造評価」、「震源を特定して策定する地震動」および「震源を特定せず策定する地震動」を評価し、発電所において発生を想定すべきとされる地震動を選定。



- 4ページの図は、基準地震動の決定までの流れを簡単に絵に示したものです。
- 「震源を特定せず策定する地震動」「震源を特定して策定する地震動」「敷地及び敷地周辺の地下構造」の審査を経て、最大のポイントである基準地震動が決定することになります。
- 現在は、ピンクの枠に記載している残り1つ、「震源を特定して策定する地震動」の審査対応に、鋭意取り組んでいる状況です。

## 4. 震源を特定して策定する地震動評価の審査状況

5

- 敷地周辺の陸域・海域の活断層評価について、追加調査を実施。  
〔陸域〕トレンチ調査、ボーリング調査等 〔海域〕音波探査、採泥調査等

- 本年6月に、宍道断層両端での更なるボーリング調査を終え、その詳細データをもとに、9月9日の審査会合において、改めて宍道断層の長さを約22kmとする、これまでの評価結果に変更がないことを説明。
- 原子力規制委員会からは、「宍道断層西端付近については慎重に調査する必要がある」としたうえで、「再度現地調査を行い、今後の審議を進めたい」とのコメントあり。

- 10月29日から30日にかけて、現地調査が行われた。

【現地調査箇所(宍道断層西端付近)】

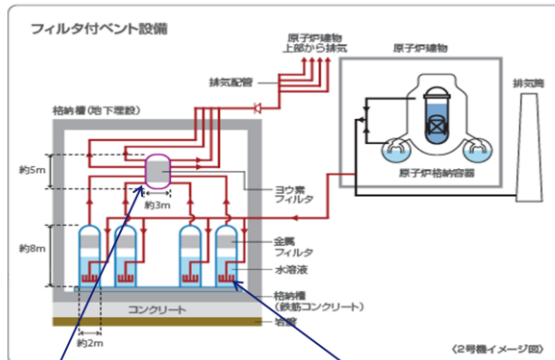


- その「震源を特定して策定する地震動評価」の審査状況について、ご説明します。
- これまで、審査会合等での指摘を踏まえ、陸域・海域それぞれで追加調査を実施してきました。
- 本年6月に宍道断層の両端での更なる追加ボーリング調査を終え、その詳細データをもとに、9月9日の審査会合において、改めて宍道断層の長さを約22kmとする、これまでの評価結果に変更がないことを説明しました。
- その際、原子力規制委員会からは、「宍道断層西端付近については慎重に評価する必要がある」としたうえで、「再度現地調査を行い、今後の審議を進めたい」とのコメントがありました。
- そして、先週の10月29日から30日にかけて現地調査が行われ、宍道断層の延長部に対応する断層がない、と当社が評価している西端付近について、女島(めしま)などの地質状況をご確認いただきました。
- 結果や今後の対応などについては、その場で結論が出されるものではなく、今後の審査会合で審議いただくものであり、当社としては、引き続き適切に対応してまいります。
- このように、基準地震動の決定に向けて、一歩ずつではありますが、着実に前進していると受け止めています。

## 5. 安全対策工事の状況(フィルタ付ベント設備の例)

6

- 2号機のフィルタ付ベント設備について、格納槽の漏えい対策や排気弁の多重化等の詳細設計に時間を要していることなどから、完了予定時期を本年9月末から来年3月末に見直し。



フィルタ付ベント設備

《ヨウ素フィルタ》\* 銀ゼオライト  
・直径約3m ・高さ約5m  
・1基 (除去効率 98%)

《フィルタ装置》  
・直径約2m ・高さ約8m  
・4基 (除去効率 99.9%)

All Rights Reserved. Copyright © 2015, THE CHUGOKU ELECTRIC POWER CO., INC.

- 続いて、安全対策工事の状況について、ご説明します。
- できるだけ早期の実施に向けて取り組みを進めているところですが、完了予定時期の見直しが続いております。
- 2号機のフィルタ付ベント設備について、完了予定を本年9月末としておりましたが、審査会合の過程で追加検討が必要とされた、格納槽の漏えい対策や排気弁の多重化等の詳細設計に時間を要していることなどから、本年9月に、完了予定時期を来年3月末に見直しました。
- あわせて、その他新規規制基準に対応するための各種安全対策についても、来年3月末の完了に向けて進めていくこととしています。
- 当社としましては、必要な対策工事を着実に実施し、また適合性審査にしっかりと対応して安全性を確認していただいたうえで地元をはじめとする皆さまのご理解を得ながら原子力を稼働させ、電力の安定供給や経営の安定化につなげていきたいと考えております。
- 引き続き、皆さまからのご支援・ご協力をお願いいたします。

- 当資料のいかなる情報も、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。また、当社は当資料の内容に関し、いかなる保証をするものでもありません。
- 投資を行う際には、必ず当社が発行する有価証券報告書等の財務資料をご覧いただいた上で、ご自身の判断でなされるようお願い致します。
- 内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りおよび当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いかねます。
- 当資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の実績等に関する見通しであり、これらの将来予測には、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることがあり得ます。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。

<お問い合わせ先>

〒730-8701 広島市中区小町4-33

中国電力株式会社 経営企画部門 IRグループ

Tel 082-544-2786

Fax 082-544-2792

URL <http://www.energia.co.jp/ir/index.html>